

JESCO 豊田PCB廃棄物処理 事業だより(No.169)

1. 平成30年度安全セミナーについて

豊田PCB廃棄物処理施設では、操業当初の漏洩事故等を踏まえ、事故の再発防止のために『豊田事業所再生計画』を平成22年度にとりまとめました。

この再生計画に位置付ける安全セミナーは、PCBの無害化処理を安全かつ確実に実施するうえで大変重要な教育講習であり、今年度も継続して、毎月開催いたします。



■平成30年度安全セミナー実施計画

平成30年度は前年度から継続して繰り返し教育するテーマに加え、前年の教育内容をさらに発展させた内容とすることで、マンネリ化の防止とともに、さらに理解が深まる内容としています。

安全セミナーは全従業員が参加し、関係する法令遵守の徹底、過去の事故・災害・漏洩トラブル事例において実施した再発防止対策と他の施設等への水平展開について学んでいます。この安全セミナーは年間12回開催しており、講師は所内の他、外部からお招きし、様々な角度からの学習をします。

第1回セミナーではPCBの性状、毒性、健康影響、環境中濃度、取扱い上の留意点等の基礎知識について理解(再認識)を深めるとともに、作業員の暴露防止と安全衛生意識向上をはかりました。

2. 社員提案の表彰



豊田PCB処理事業所では『社員提案制度』を実施しています。これは、安全で確実な操業、作業効率化・合理化及びコスト削減等を目指し、社員から随時、自発的に提案してもらい、優秀な提案について表彰するものです。

平成29年度第2回(平成29年9月～平成30年2月分)には全33件の提案があり、最優秀賞1件、優秀賞3件、佳作3件を選出し、4月20日(金)に表彰いたしました。提案の多くは更なる安全性向上を図るものでした。これら提案の実現により、一層の安全・安定的な操業に取り組んでまいります。

3. 平成29年度環境モニタリング調査結果について

豊田PCB廃棄物処理施設では設備の稼働に伴う環境への影響を点検・確認するため、周辺環境及び排出源のモニタリング調査を実施しています。

平成29年度は4月、7月、10月及び平成30年1月の合計4回調査を実施し、全て管理目標値、環境基準値等に適合していることを確認しています。

また、有事に備えての通報及び測定対応のための訓練を実施しています。



■ 調査項目及び調査回数

- ①大気 : 年4回、風下の敷地境界の地点(PCB、ダイオキシン類、ベンゼン)
- ②土壌 : 年1回、敷地内の地点(PCB、ダイオキシン類)
- ③地下水 : 年2回、敷地内の地点(PCB、ダイオキシン類)
- ④排気 : 年4回、排気口(PCB、ダイオキシン類、ベンゼン)
- ⑤ばい煙 : 年2回、ばい煙発生施設の排気口(ばいじん、窒素酸化物)
- ⑥排水 : 年4回、放流口(PCB、ダイオキシン類)
- ⑦騒音・振動 : 年1回、敷地境界の地点

4. 交通安全街頭活動を行いました



豊田市の「春の交通安全市民運動」の一環として、4月6日(金)に「交通安全街頭活動」に参加しました。

当施設からはJESCO、運転管理会社の社員約30名がのぼりやタスキ、ハンドサインなどを持ち、ドライバーに『安全運転』『ゆっくり停止・発進』などを呼びかけました。



デジ丸

問い合わせ先

アザラシのピーちゃん

中間貯蔵・環境安全事業株式会社(JESCO)

豊田PCB処理事業所 電話:0565-25-3110 FAX:0565-24-0543

【豊田PCB処理事業HP】 <http://www.jesconet.co.jp/facility/toyota/index.html>